

YouTube「【公式】テレビ金沢」 系列局の迅速なサポートにより 動画配信の完全自走化が実現

報道制作局報道部
チーフプロデューサー
平体好孝さん



9月の豪雨のときも、地震直後に 構築した体制と経験が生きた

——動画配信に力を入れ始めたきっかけを教えてください。

平体■2023年12月にNNN系列の新しいコンテンツ配信システムを導入したのですが、入れたのは系列ではうちが最後でした。そして、これからデジタル配信に力を入れようと思っていた矢先の1月1日に能登半島地震が起きました。

それまではYouTubeでのニュース動画配信は一切行っていなかったデジタル後進局で、地震の発生後も配信ができない状態でした。しかし、1月5日に日本テレビ、中京テレビから配信のスペシャリストがやってきて、システムを構築していただき、そこからYouTubeでのニュース配信ができるようになりました。その後の1カ月間、系列のローカル局のべ90人以上の方々にテレビ金沢のデジタル配信を支えていただきました。

——配信オリジナルの動画もあったのでしょうか。

平体■例えば取材車両にGoProを搭載して被災地の取材に向かう間、ずっと長回しして、道路状況がどのようになっているかを編集なしでそのまま配信するということも行いました。このような動画は被災されている方だけでなく、遠く離れている家族やこれからボランティアに駆けつけようという方にとっても、非常に有益な情報になったという声を多くいただきました。

個人で発信をされている方もたくさんいましたが、地上波の放送局だったら嘘の情報は流さないと皆さん

思ったうえで、うちの動画を参考にしてくださったのだと思います。

——9月に能登半島を襲った豪雨でも、その経験が生きたのでしょうか。平体■1月の地震のときに構築してもらった方法で、その日のニュースをまとめたものを配信していますし、ショート動画もやっています。担当は、私とアシスタントの2人しかいませんでしたが、とにかく、1月のときから縮小させずにずっとやってきたことで、9月でも体制と経験を最大限に生かすことができたと思います。

豪雨のときも、YouTubeにアップロードした動画はたくさんあるのですが、その中で再生回数が一番多かったのが「映像記録」というタイトルを付けた、家屋の2階まで水に浸かったという動画です。これはオンエアの映像ではなく、被災された方が送ってくれたもので、今まさに自分の家が水にのみ込まれていくという生々しい動画でした。それをうちに預けてくれて、テレビ金沢から発信するという形でYouTubeにアップロードした結果、視聴回数が31万回以上を記録しています。このような形で発信したいと思っている被災者の方のお手伝いを、これからも行っていければと思っています。

系列としての成功例に 今回の事例が参考になれば

——ライブ配信の視聴者数が伸びているとお聞きました。

平体■地震の直後は中継局も被災して停波する可能性があり、放送との同時配信をYouTubeでも開始しましたが、現在はサイマルはやっていないですが、ライブ配信アーカイブとい

う形で今でも毎日続けています。

10月の衆院選のときは、石川県の地上波の放送局の中でも、ライブ配信の視聴者数が非常に大きなものになりました。これも普段のライブ配信を見てくださっている方が多かったからだと思っています。

——今後の災害時における動画配信の協力体制については？

平体■今までデジタルでニュース報道をやっていなかった局が、1カ月の応援を受けることによって体制を整えて、その後も完全に自走できているという、NNN系列としての成功例になったのではないかと考えています。ローカル局の配信デジタル化がこのような形であれば取り組んでいけるということが証明されたので、他の局が配信体制を構築するときの参考になればと思っています。

オススメコンテンツ



【映像日記】WEB 特別版 #能登のともしび 集団帰郷〜輪島市鶴入町

防災直後から半年間にわたり、毎日欠かさず配信していたコンテンツ。タワの情報番組「となりのテレ金ちゃん」の中で放送していた「能登のともしび」のほか、記者やカメラマンが取材先で出会った放送にはいなかったワンシーンをWEB限定版として配信。



from
YouTube

限られたリソースでニュース配信を継続することは困難を伴いますが、うまく業務の流れを構築し、持続的なものでできれば、次なる自然災害や選挙などの大きな関心事の際、より多くの視聴者に情報を届けられる可能性をもたらすことが、今回のお話でわかりました。